

## 平成 28 年度 ESD 海外語学研修 報告書

H28.8.25 職員会議

7月28日(木)

16:21 に二本松駅から羽田空港へ向けて生徒20名、教員2名無事に出発。  
22:00 にカンタス航空 B787 でシドニーへ。

7月29日(金)

約9時間のフライトで8:30に快晴のシドニーへ降り立ちました。バスでミセス・マッコリーズポイントへ向かい、オペラハウスとハーバーブリッジをバックに写真撮影。そしてオーストラリア博物館でアボリジニ文化について説明を受けました。

15:00頃、Tyndale Christian Schoolでホストファミリーと対面。最初は心細い様子でしたが、ホストの方々が優しく話しかけてくれたことで、大きい期待と少しの不安をもって車に乗り込んでいきました。



7月30日(土) 31日(日)

ホストファミリーと共に、バラエティーに富んだ内容の時間を過ごしました。ブルーマウンテン国立公園、マンリービーチ、教会での礼拝、ショッピング、家でゴロゴロ、映画鑑賞、市内観光等、誕生パーティ etc...。



8月1日(月)

8:40頃ホストファミリーの送迎でTyndaleへ。この時間は幼稚園児～高校生まで保護者が送って来る時間なので、交通誘導の先生が立っています。朝から賑やかです。チャイムが鳴ると一斉に校舎内の各教室へ向かいます。午前中は2コマ連続(休み時間無し)で、その後 recess(休憩時間)があり、生徒達は外に出て来てバスケットをしたり、フルーツを食べたりします。その後1コマ授業がありLunchになります。午後は2コマ授業があり15:00頃には終了。放課となります。放課後の時間はそれぞれ自由に使います。本校生はこの日から英語レッスンを開始しました。



Francis先生が自己紹介やゲームなどでみんなの緊張を解いてくれました。生徒達は英語を聞き取ろうと努力し、積極的にコミュニケーションを図ろうとしていました。また recess時にはTyndale高校生のバディと一緒に会話をしました。午後にはバディが取る授業と一緒に受けてきました。科学や保健、美術など多岐に渡る内容で、ほとんど英語が聞き取れず理解出来なかったけど、それでも面白い授業とつまらない授業の違いは分かった！とっていました。

8月2日(火)、3日(水)

英語のレッスンと共に、福島のプレゼンテーション、日本文化紹介を行いました。東日本大震災による被害、復興、福島の観光文化などをPowerPointを用いて、英語で立派に紹介しました。何回かプレゼンをする中で、内容を少しずつ改善していた点が素晴らしかったです。

日本文化紹介では、中学生を対象に、書道、浴衣、竹とんぼ、折り紙などを体験してもらいました。英語とジェスチャーを用いて、中学生に一生懸命説明していました。そして中学生も、真剣に書道をしたり、浴衣を着せてもらってはしゃいでいたり、異文化交流の楽しさを実感できました。





質問の時間には、日本の食べ物やアニメの話、ポケモン GO の話も出ました。そして広島・長崎のことを質問する生徒もいて驚きました。残念なことに、それに対して本校生徒が曖昧な答えしかできませんでした。生徒達が、世界に対する好奇心は勿論ですが、自分たちの住む日本に対する探求心も伸ばせるような、日々の授業における「学び」の重要性を実感しました。

### 8月4日(木)

この日は英語レッスンの後、11時頃から地元の **Blacktown Fire Station** (ブラックタウン消防署) を訪問しました。ここでは実際に火事起きた場合のシミュレーションや消防車、消防団員の仕事内容など、丁寧に教えて頂きました。火事の現場に行くことはもちろん、交通事故現場へも駆けつけ、車体を切断して中の人を救助するなど、幅広い仕事内容に驚きました。出動回数は平均1日8回だそうです。そして最後に震災直後にオーストラリアから日本に派遣された消防士 **David** さんの話を伺いました。彼は実際に福島も訪れていました。生徒からは「原発についてどう思うか」など質問が出ました。彼は「オーストラリアには原発がない。想像で答えるしかないが、やはり原発は良くないと思う」と答えました。



### 8月5日(金)



朝、ホストファミリーとお別れ。Tyndale の **Jack Joyce** 校長先生から1人1人に証明書が手渡されました。続いてタロンガ動物園へ向かい、カンガルーやコアラ、タスマニアンデビルなどオーストラリア固有の動物を見ました。その後シドニー大学へ。オックスフォード大学を模した建築様式で、ハリーポッターの世界が広がっているような光景でした。キャンパスの佇まいは歴史を感じさせ、このような大学で勉強してみたいと生徒達も感想を述べていました。



### 8月6日(土)

シドニー大学生が市内を案内してくれました。あちこちを歩き回ったようで、心地よい疲労感に包まれていました。夜はオーギービーフのステーキを満喫しました。そしていよいよシドニー空港へ向かいチェックイン。21時ごろシドニーを発ちました。



### 8月7日(日)

5:30 ごろ羽田空港着。1名体調不良のため遅れて帰ることになりましたが、最終的には全員無事に郡山駅で解散しました。

### 次年度へ向けて

今年度は語学研修を現地の学校で行いました。これは異文化交流において大変有意義な内容となりました。福島県の現状プレゼン、日本文化紹介など、実際に現地生徒と交流する場面が多く、シドニーという多文化、多民族共生を直に体験する良い機会でした。また昨年度より2日間多い7泊のホームステイも受け入れ先が多国籍の家庭が多く、本校生徒は良い意味でカルチャーショックを受けたようです。この研修中に明らかな成長を見せた生徒も少なくありません。全体的に昨年度の反省を踏まえたカリキュラムを組んだので、生徒達にとっては実り多い海外研修になったと思います。次年度も現地校との交流を踏まえた研修カリキュラムが望ましいと考えます。

